

湖西市立中学校部活動に関する アンケート結果のまとめ

—教職員—

湖西市教育委員会

アンケート概要

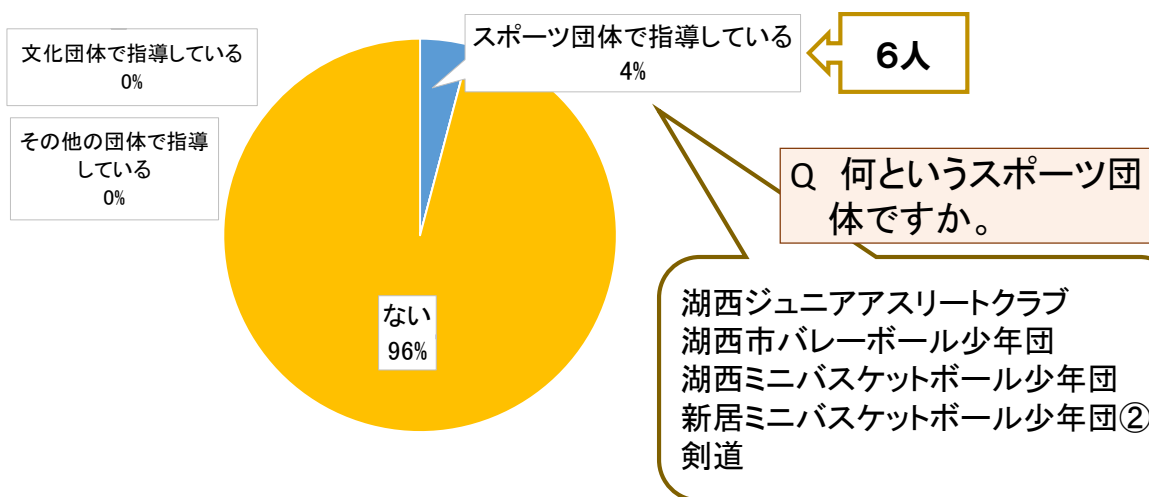
実施期間	令和5年10月6日～10月23日			
実施方法	グーグルフォームアンケート			実施率
対象者と 回答数	子供	小学5～6年児童	940/978名	96.1%
		中学1～2年生徒	871/999名	87.2%
	保護者	小学5～6年保護者	775/978名	79.2%
		中学1～2年保護者	752/999名	75.3%
	教員	小学校	146/154名	94.8%
		中学校	96/111名	84.9%

アンケート結果

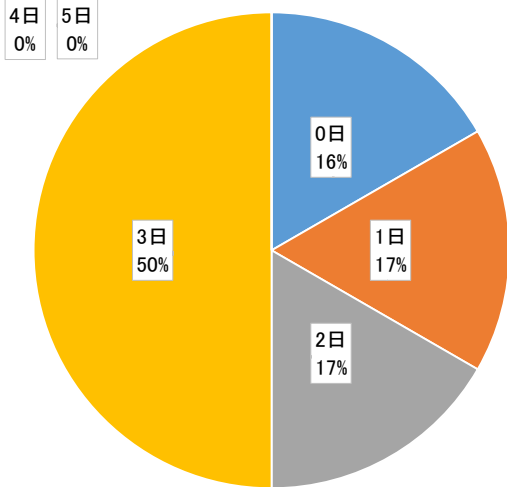
(小学校 教職員)

小学校教員 アンケート結果

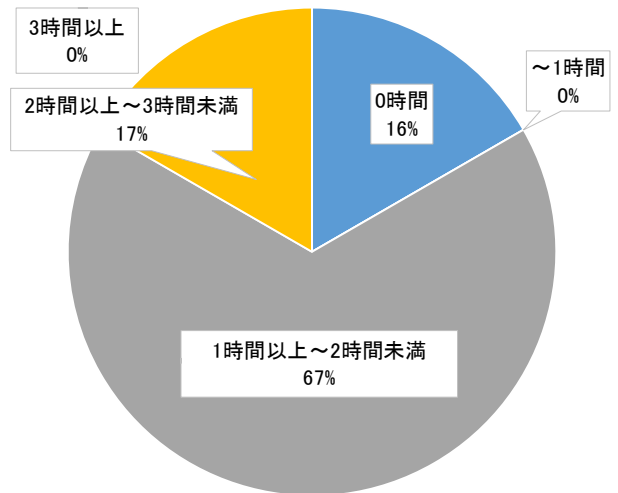
Q 現在、ご自身が子供を指導している市内の活動団体はありますか。
(複数回答あり)



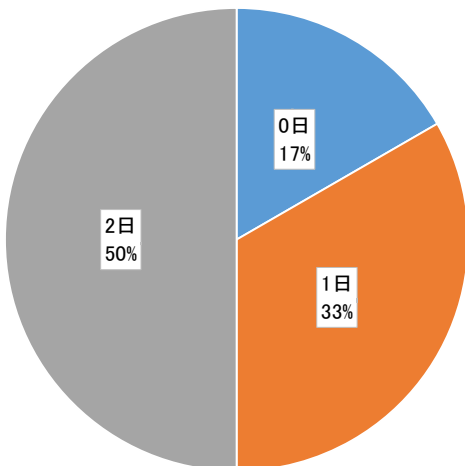
Q 平日の1週間の活動日数を教えてください。複数ある人は、合わせた日数をお答えください。



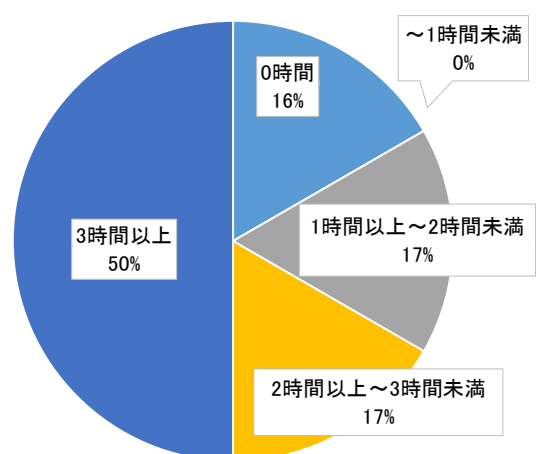
Q 平日の1日の活動時間を教えてください。複数ある人は、合わせた時間をお答えください。



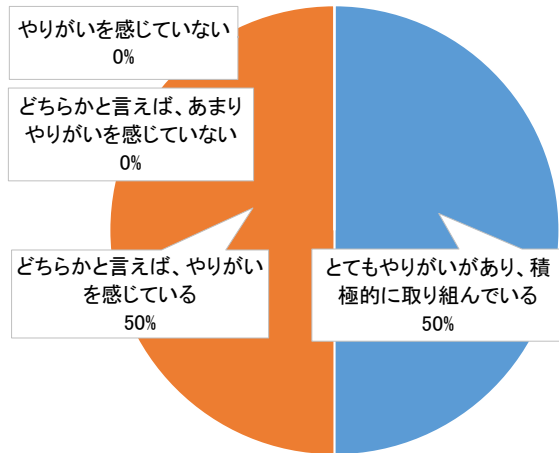
Q 休日の1週間の活動日数を教えてください。複数ある人は、合わせた日数をお答えください。



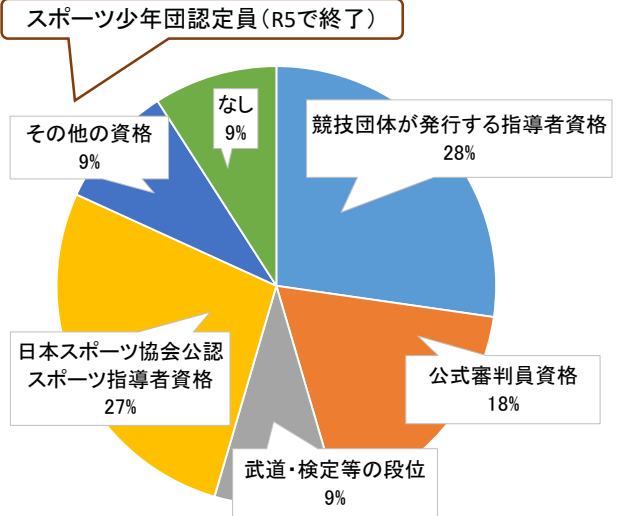
Q 休日の1日の活動時間を教えてください。複数ある人は、合わせた時間を教えてください。



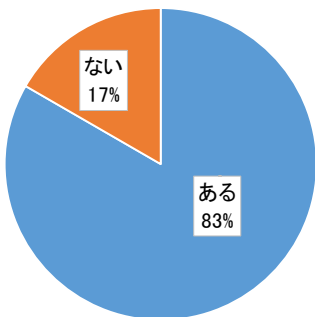
Q 現在、所属している団体の指導にどのような姿勢で臨んでいますか。



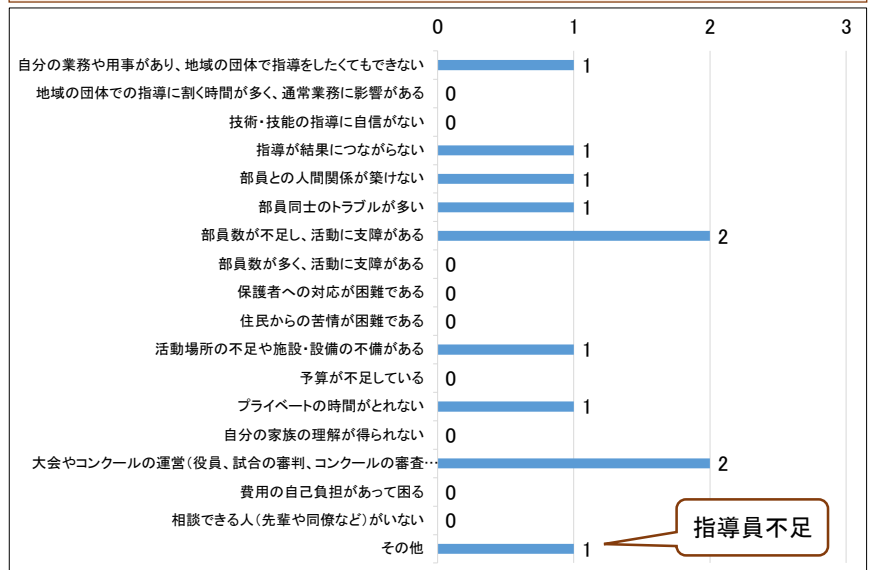
Q 活動に関わる指導者の資格を持っていますか(複数回答あり)。



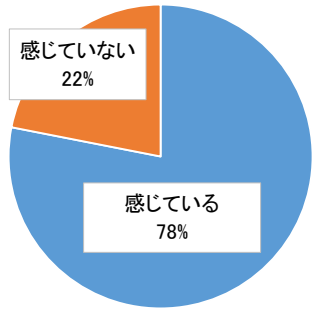
Q 地域の団体で指導するうえで課題や悩みはありますか。



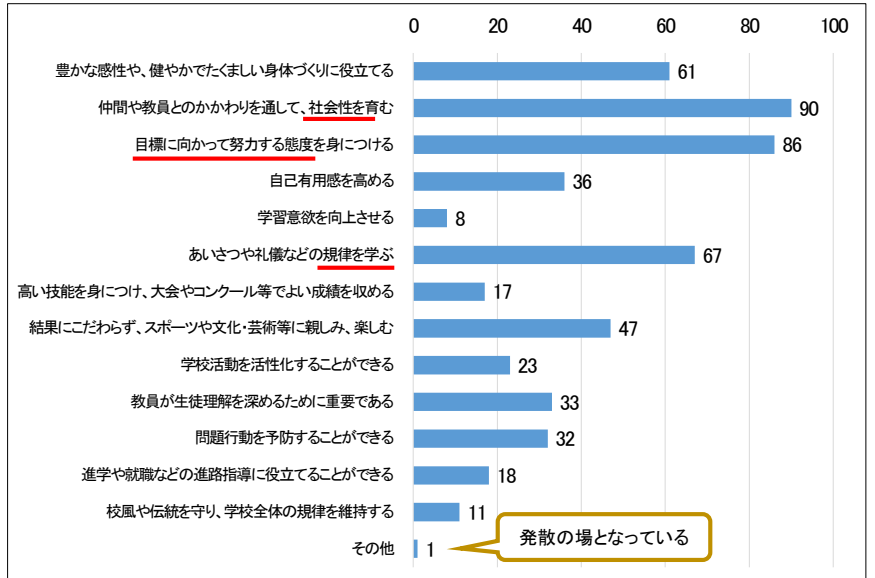
Q どんな課題や悩みがありますか。(複数回答あり)



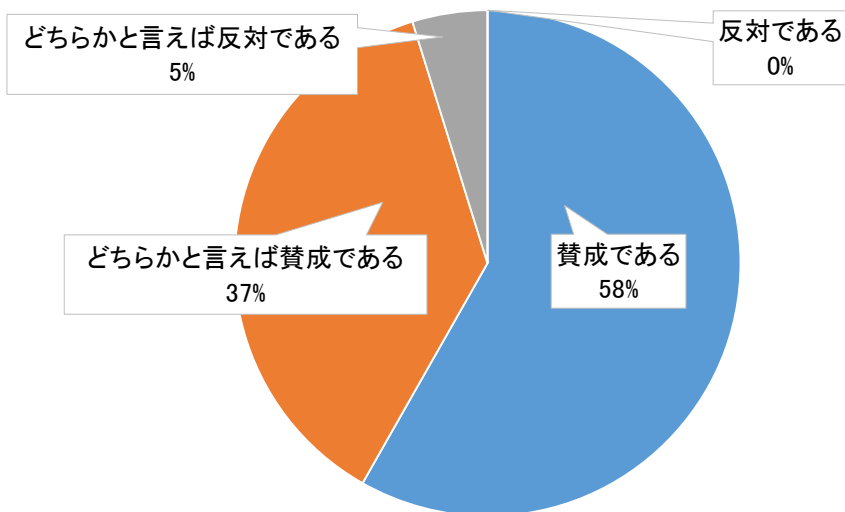
Q 中学校の部活動に教育的意義を感じていますか。



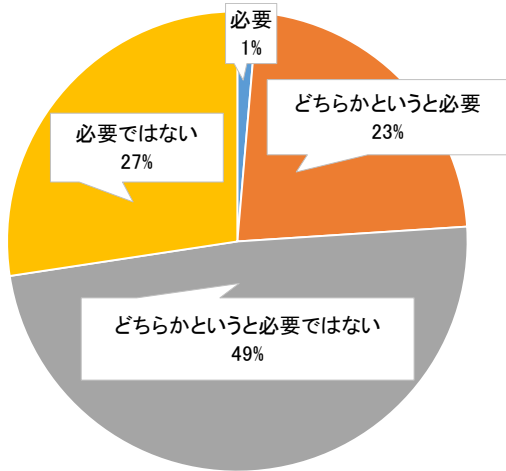
Q どんな意義を感じていますか。(複数回答あり)



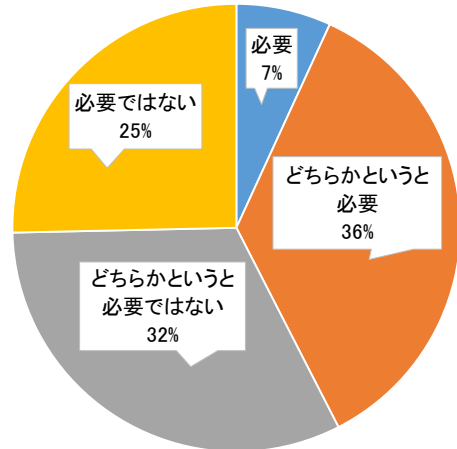
Q 中学校の部活動を地域連携・地域移行することについて、どう思いますか。



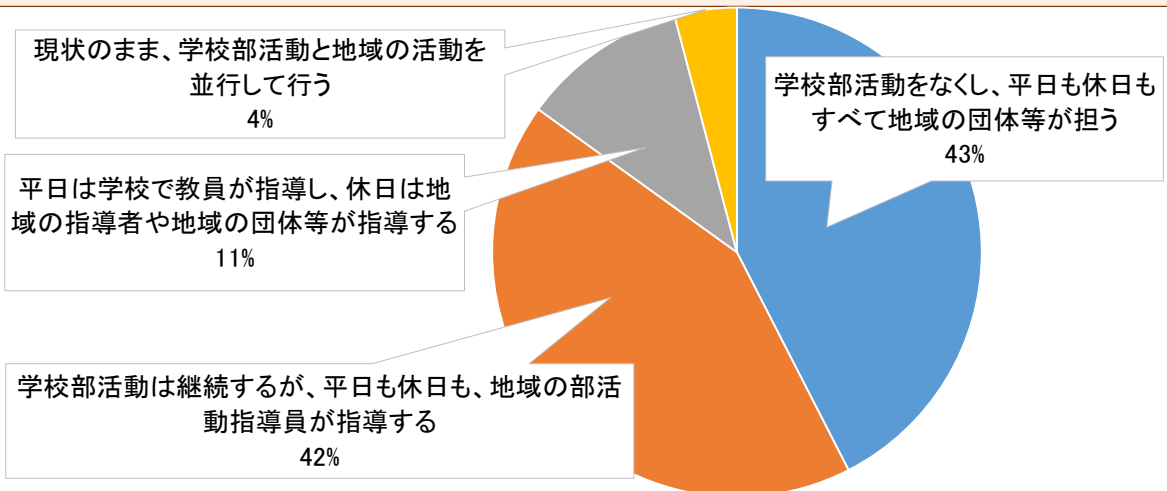
Q 将来的に、部活動に教員が関わる必要性について、どう思っていますか。



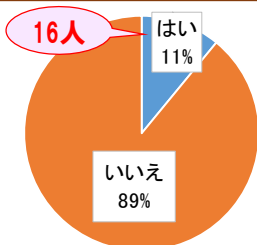
Q 将来的に、中学校の学校教育に部活動は、必要でしょうか。



Q 文部科学省は、まずは休日の学校部活動の地域移行を進めるように述べています。将来の中学校の部活動の姿として、どのような姿がよいと思いますか。



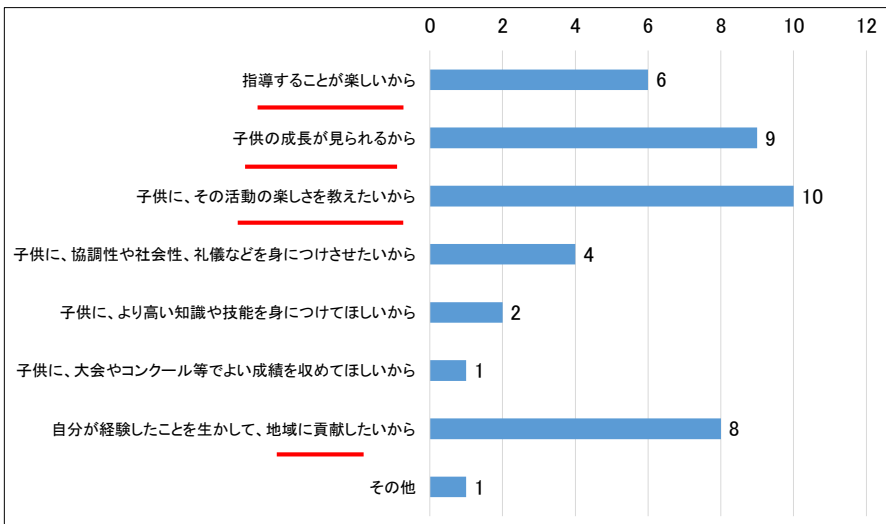
Q 中学生を対象とした地域クラブの指導者として関わることができますか。



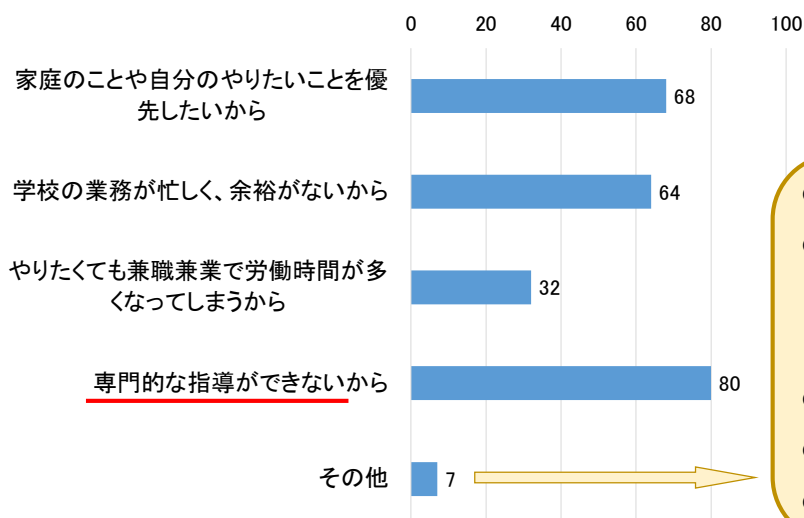
Q 関わる場合は、どの種目・活動に関わりたいですか。

サッカー③、テニス①、陸上②
 剣道①、水泳②、野球③
 音楽関係③、文化部①
 バレーボール② ※複数回答あり

Q なぜ、「はい」と答えましたか、理由を教えてください。(複数回答あり)



Q なぜ、「いいえ」と答えましたか、理由を教えてください。(複数回答あり)



- 教員以外の大人が指導した方がよいと考えているから。
- 学習指導要領に部活動が明記されている以上、校内における部活動の位置づけは必須になるのであれば、外部指導者を確保することはもちろん、学校との連携をどのように行うのか、組織の整備が必要である。
- 現在小学生の少年団指導をしているため。
- 家庭のことで時間がとれない。将来、携わってみたい気持ちはある。
- 他の市で指導をしているため。

Q 部活動の地域連携・地域移行について感じていることを自由にご記入ください。

別紙【小学校 教員 自由記述】

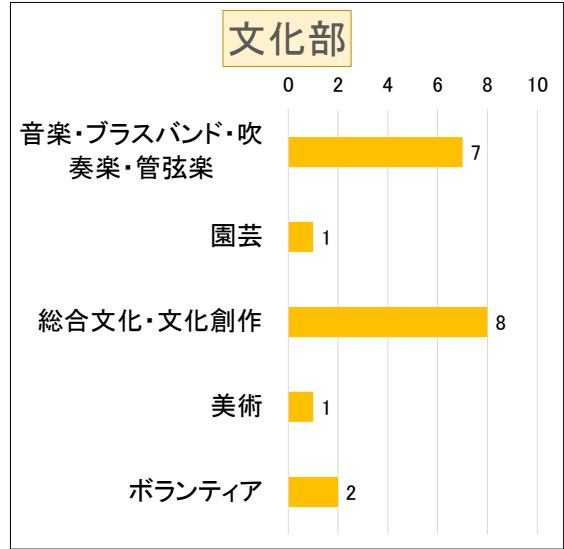
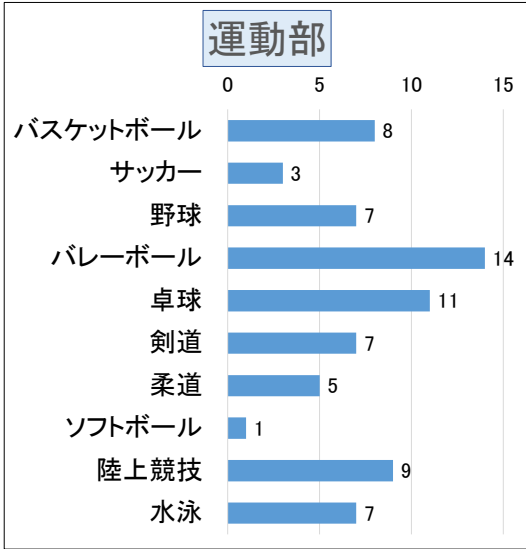
54/146 (37.0%)

《意見》・働き方改革が進むことへの期待
《心配》・指導者の確保

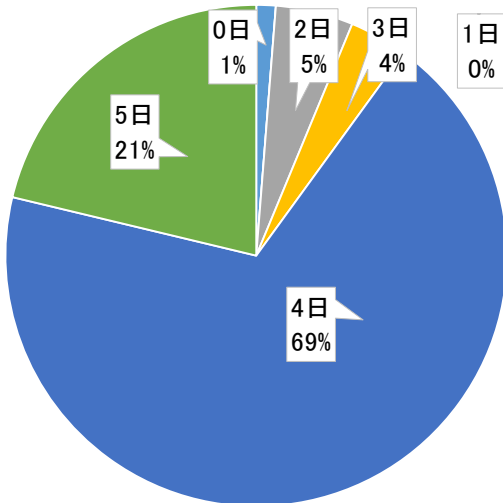
アンケート結果

(中学校 教職員)

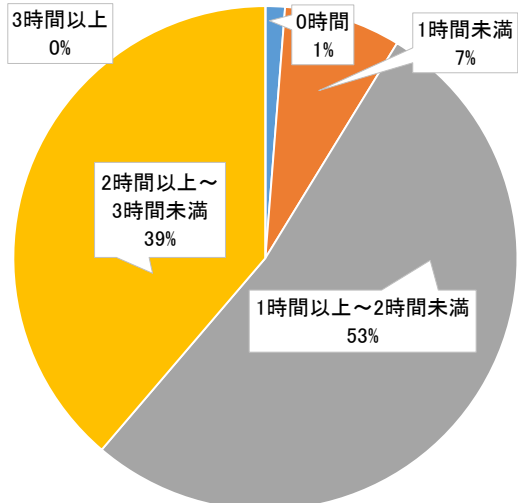
Q 担当部活動は？



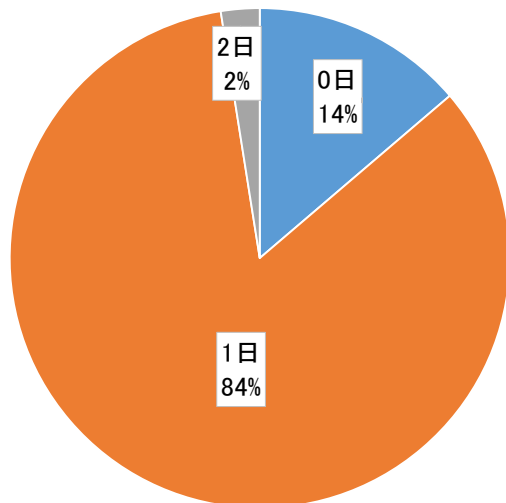
Q 平日の1週間の活動日数は、どれくらいですか。



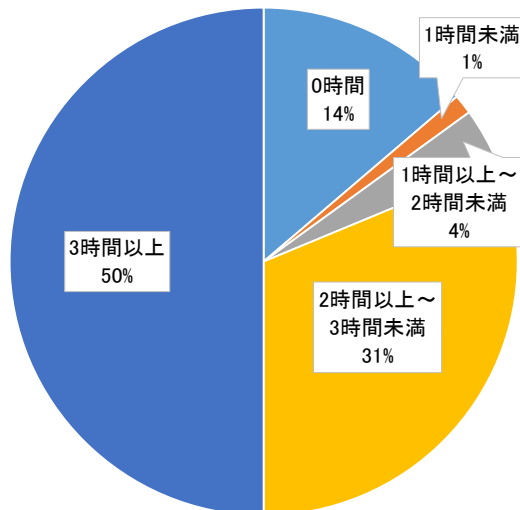
Q 平日の1日の活動時間は、年平均でどれくらいですか。



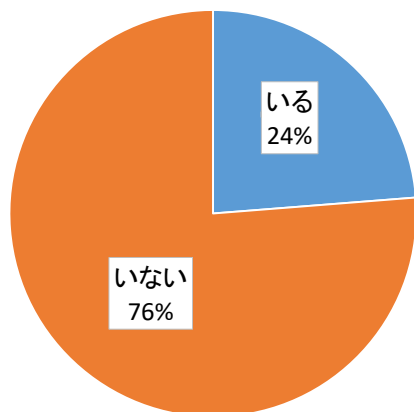
Q 休日の1週間の活動日数は、
どれくらいですか。



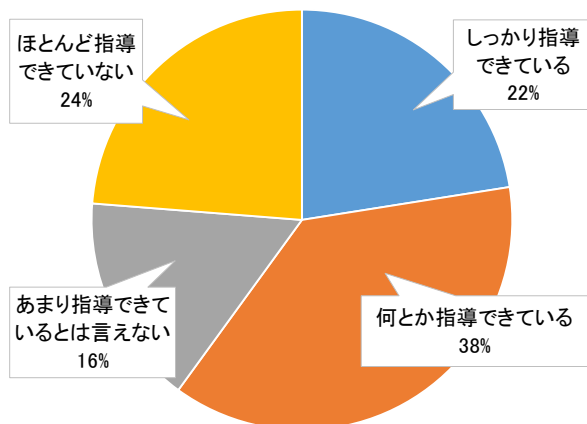
Q 休日の1日の活動時間は、
どれくらいですか。



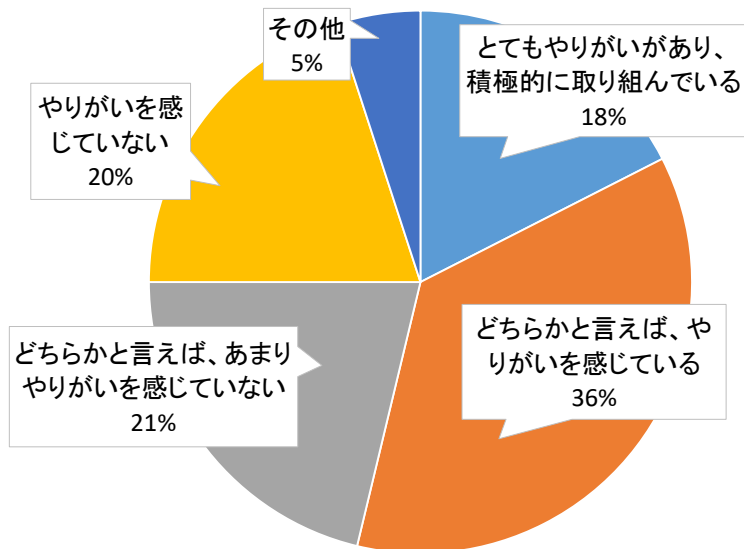
Q 外部指導者はいますか。



Q 担当している部のご自身の専門的な指導について、どう思っていますか。



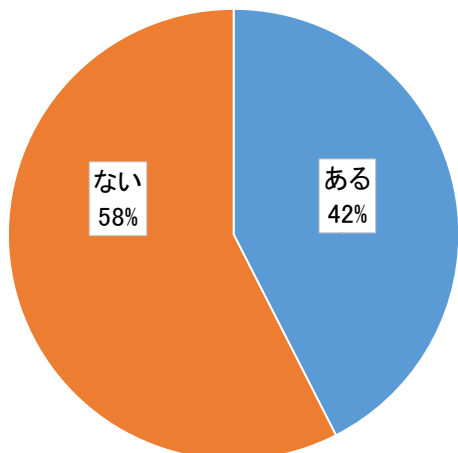
Q 現在、部活動指導にどのような姿勢で臨んでいますか。



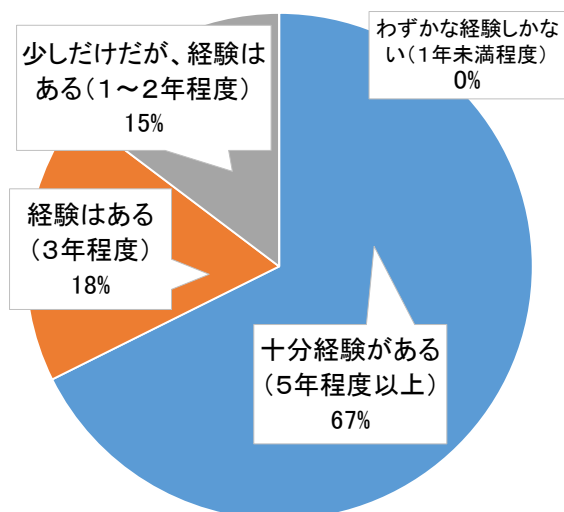
【その他の詳細】

- “やりがい”という言葉で表すことは難しい。どの状況でも“やりがい”を感じられるよう努力しているつもり。部員の人数等で生徒に充実感を与えることに苦慮しているのと、自分自身の充実感を感じづらい現状にある。
- 顧問なので、責任をもって行っているが、負担が多い。
- 正顧問に迷惑にならないように、なるべく参加するようにしている。やりがいを感じないわけではないが、指導できないので参加していても存在意義を感じにくい。

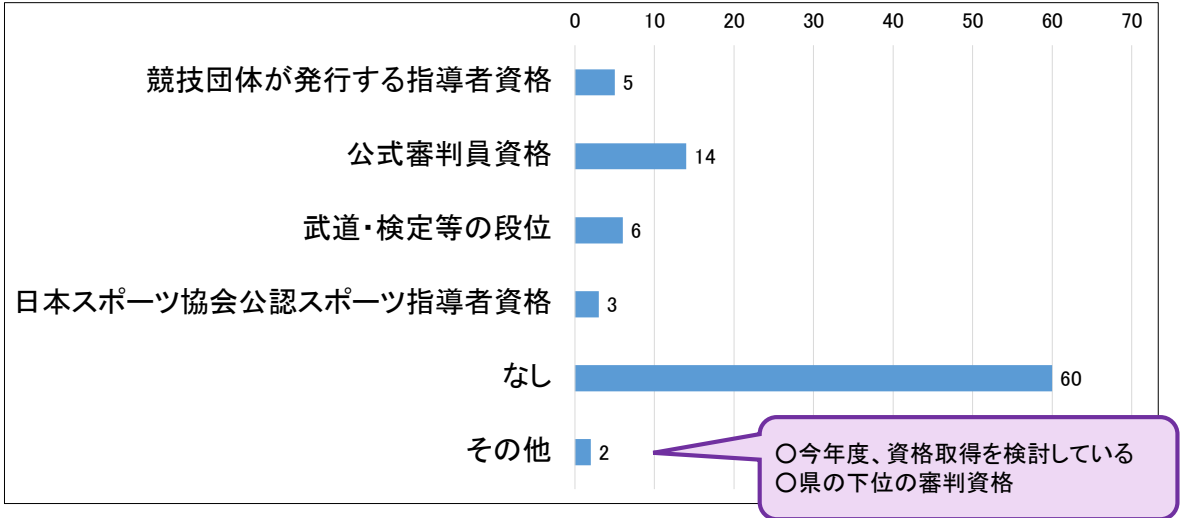
Q 教員になるまでに、現在担当している部活動の経験はありますか。



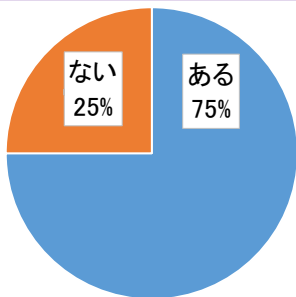
Q どのくらい経験がありますか。



Q 現在担当している部活動に関わる指導者の資格を持っていますか。
(複数回答あり)

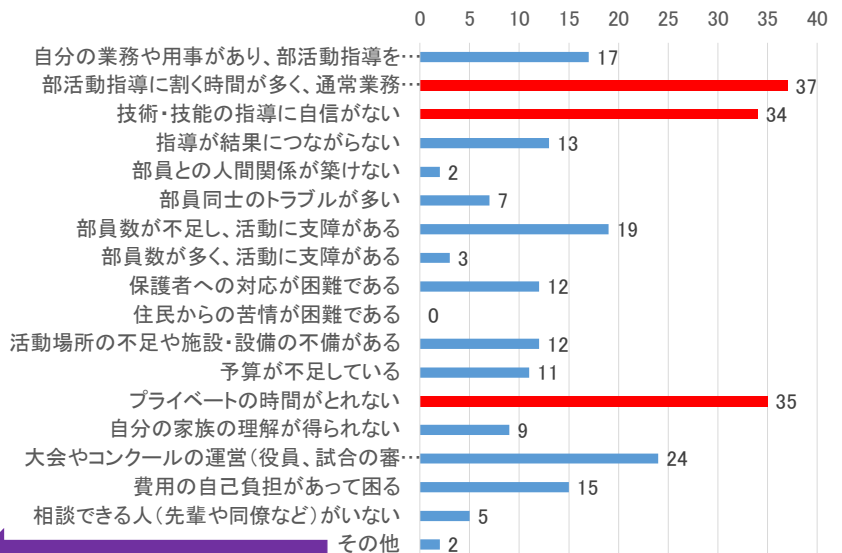


Q 部活動指導上の課題や悩みはありますか。

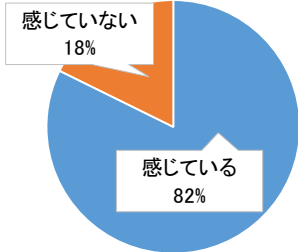


○自分の立場で、どう持続可能な状況に移行できるか日々試行錯誤はしている。
○家庭の都合でなかなか部活動に参加できず、主顧問に負担がかかっていると感じ、申し訳ないと思っている。

Q どんな課題や悩みがありますか(複数回答あり)。

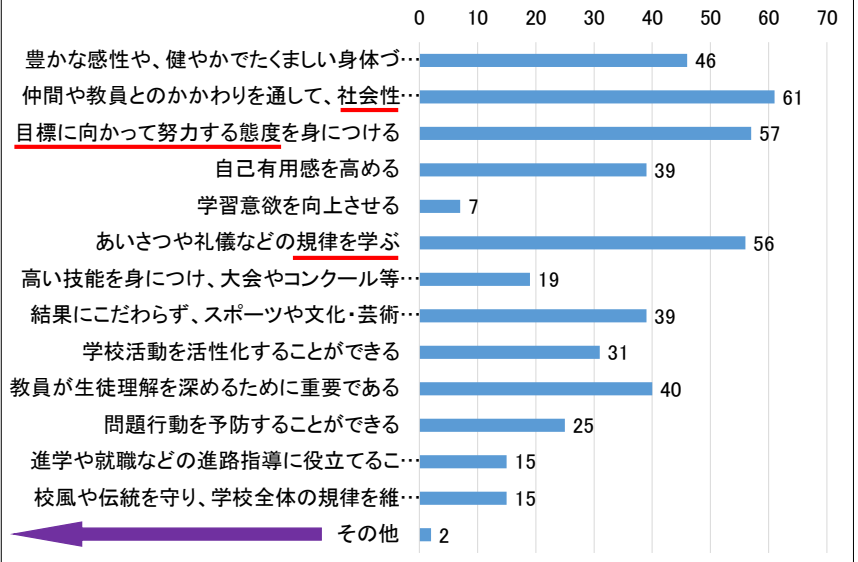


Q 部活動に教育的意義を感じていますか。

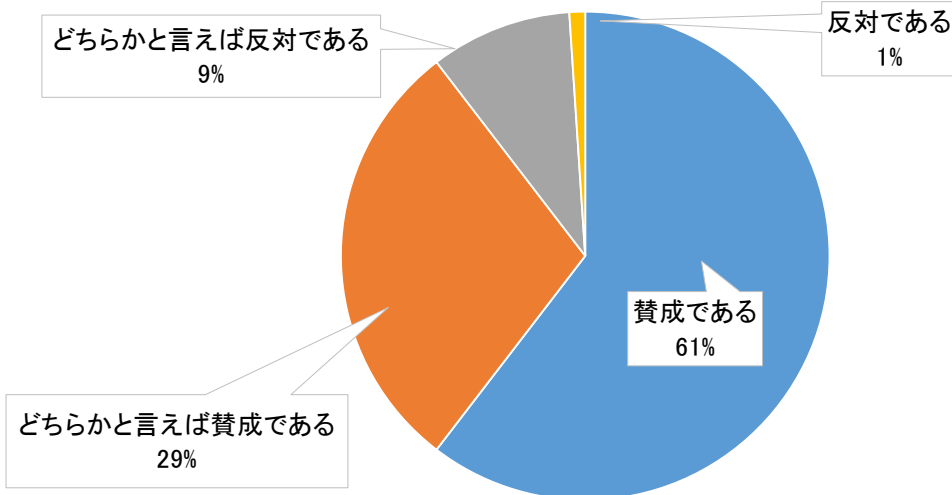


○どの項目も、部活動でも達成することは可能ではあるが、部活動でなくては達成できない意義ではない。
○部活動を励みに登校できている生徒がいる。

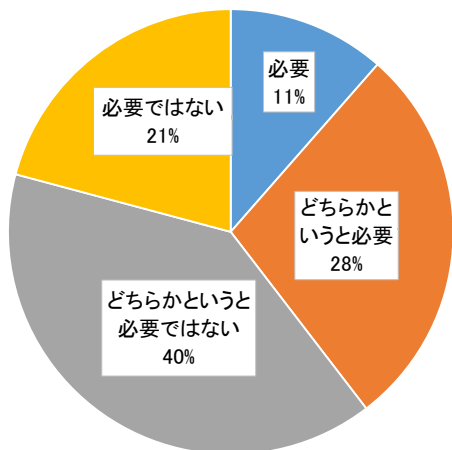
Q どんな意義を感じていますか。(複数回答あり)



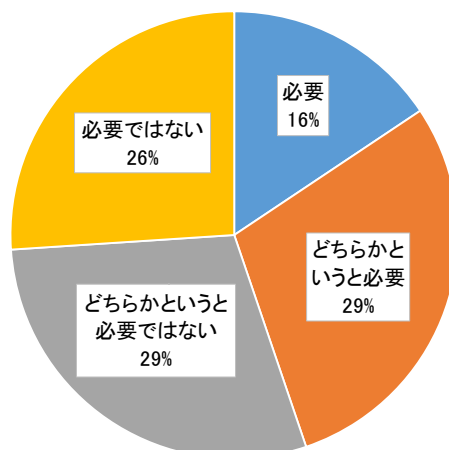
Q 中学校の部活動を地域連携・地域移行することについて、どう思いますか。



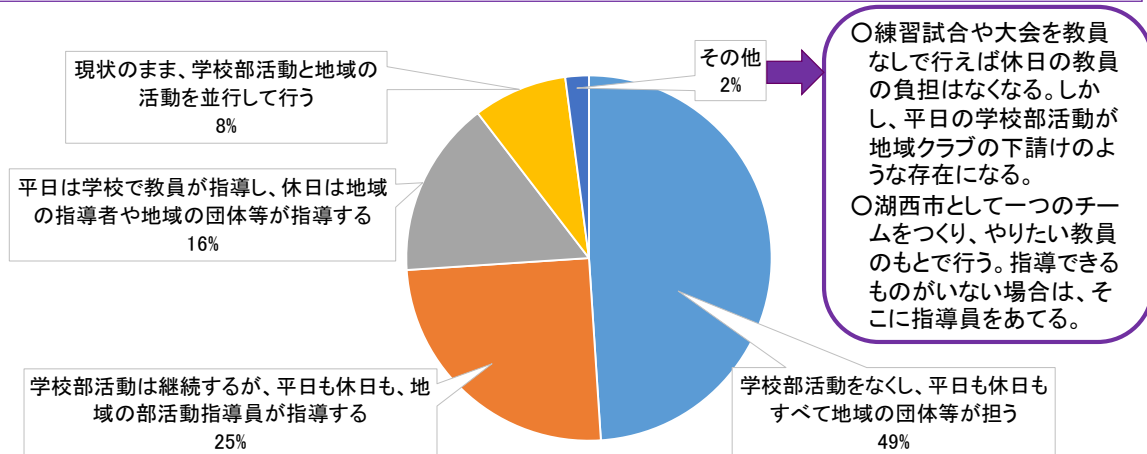
Q 将来的に、部活動に教員が関わる必要性について、どう思っていますか。



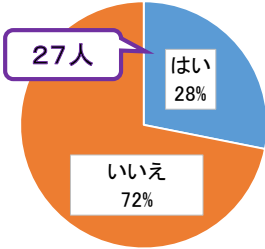
Q 将来的に、中学校の学校教育に部活動は、必要でしょうか。



Q 文部科学省は、まずは休日の学校部活動の地域移行を進めるように述べています。将来の中学校の部活動の姿として、どのような姿がよいと思いますか。

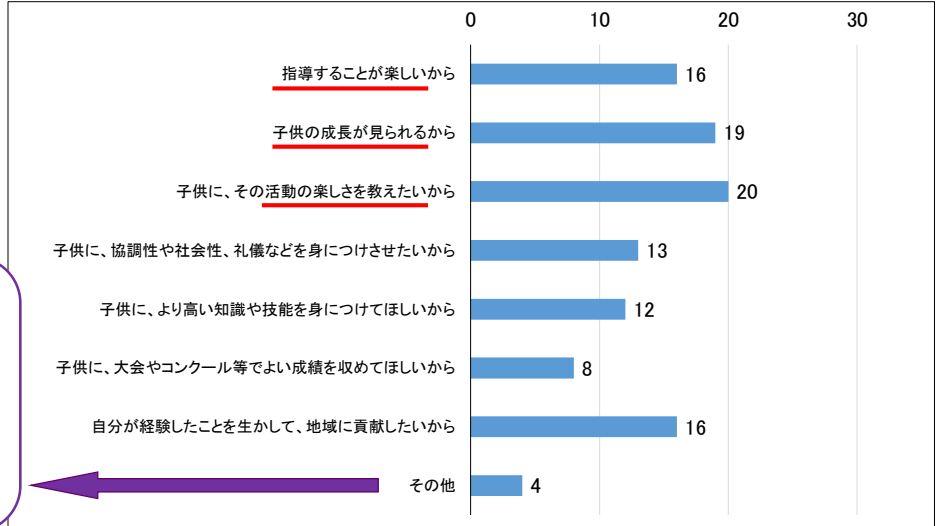


Q 中学生を対象とした地域クラブの指導者として関わることができますか。

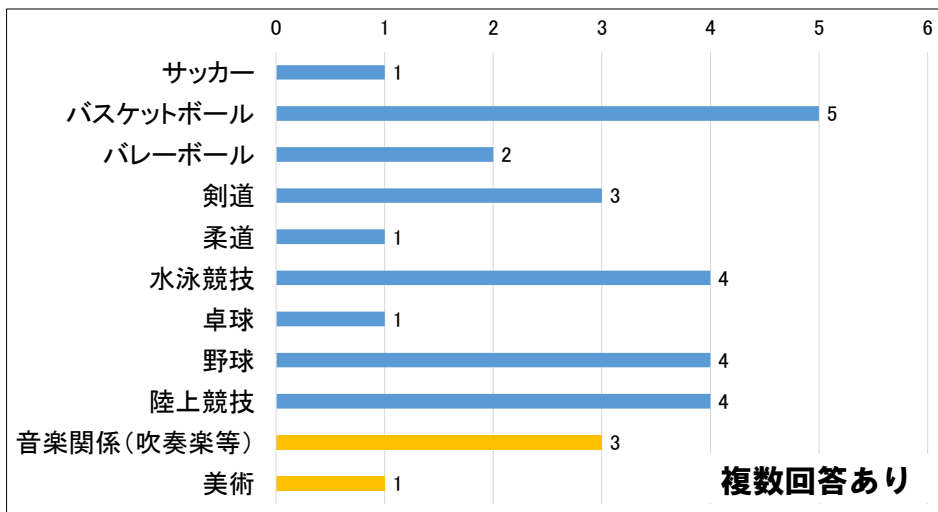


- やらなければならないから。
- 地域に移行した後も、団体が発行する資格のある指導者として関わっていき、正当な立場で副収入を得たい。
- 吹奏楽は人数も多く、活動場所確保も困難。学校の施設を使うとなると、教員が鍵などの管理をする必要がある。
- 地区の競技発展に関わりたい。

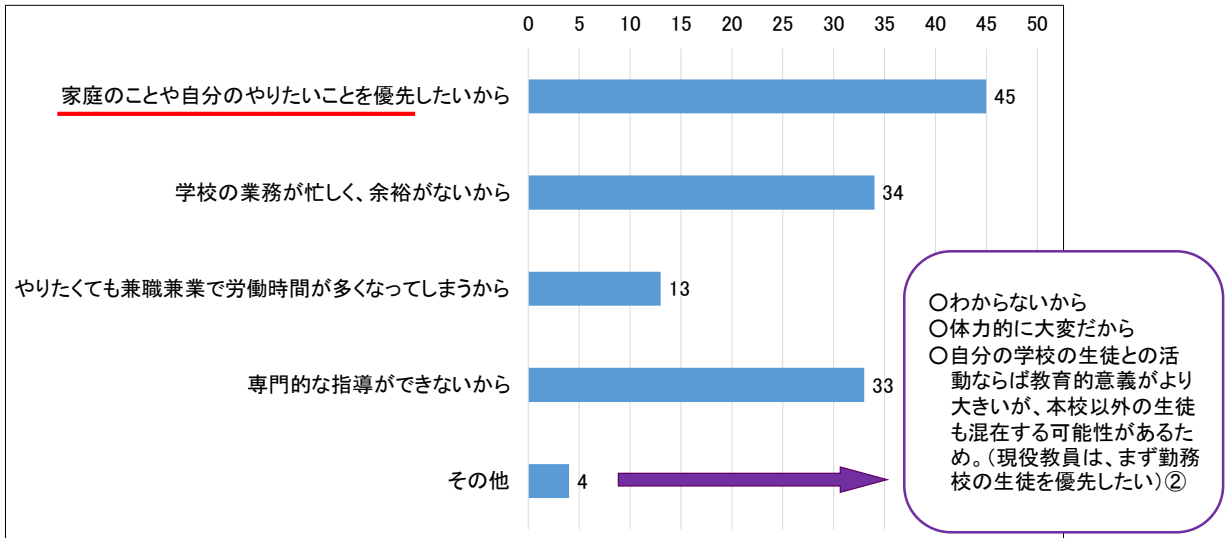
Q なぜ、「はい」と答えましたか。理由を教えてください。(複数回答あり)



Q 関わる場合は、どの種目・活動に関わりたいですか。



Q なぜ、「いいえ」と答えましたか。理由を教えてください。(複数回答あり)



Q 部活動の地域連携・地域移行について感じていることを自由にご記入ください。

別紙【中学校 教員 自由記述】

52/96 (54.2%)

《傾向》・肯定的意見が多い

《心配》・指導者の確保

《要望》・合同部活やエリア部活を ・教師に選択肢を

《不満》・現状に対する不満